

令和 7 年度事故概要一覧表

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

No.	発生/受信 月 日	調査 月 日	発生場所		事故区分			原因者	生物被害	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)
			水域等	場所等	魚死亡	油浮遊	その他			
1	6月3日	6月3日	東京湾	浦賀港		○		不明	なし	浦賀港内に油が流入しているとの通報が入る。現地調査を実施し、港内に油膜が浮遊していることを確認するも、新たな油の流入は確認できず、流出元の特定には至らなかった。臭気は正常、生物被害は認められなかった。
2	6月14日	6月14日	平作川	久里浜6丁目		○		不明	なし	平作川で油が浮遊しているとの通報が入る。現地調査を実施し、久里浜駐屯地前交差点付近から下流に向かって油膜を確認したが、流出元の特定には至らなかった。臭気は正常、生物被害は認められなかった。
3	発生 7月5日 受信 7月9日	7月9日	農業用水 ため池	長井1丁目	○			不明	あり	「7月5日から轡堰（くつわぜき）に大量の魚の死骸が浮いており、腐敗して悪臭がひどい。」との通報が入る。現地調査の結果、コイ63匹、ウナギ1匹などの死骸を確認し回収した（いずれも死後時間が経過）。新たな生物被害、周辺事業所からの排水流入は確認できず。水質検査をしたが農薬は不検出で、原因特定には至らず。酸欠が疑われたため、後日、管理者による池の水を入替える対応を講じた。
4	発生 11月10日 受信 11月11日	11月11日	相模湾	長井6丁目		○		判明	なし	11月10日に解体船より油が流出。翌日通報を受け現地を確認したところ、油の臭いと浮遊、原因者が回収作業をしているのを確認した。新たな油の流入及び生物被害は確認されなかった。原因者による回収作業は10～12日の3日間実施された。 原因者に対し、再発防止策の実施を指導。
5	3月3日	3月3日	東京湾	浦賀港		○		不明	なし	3月3日、浦賀港内に油が流入しているとの通報が環境保全課にあり、現地調査を実施した。同日中に、港内に油膜を確認したが、流出元の特定には至らなかった。なお、通報者によりオイルフェンスが設置され、油膜拡大防止の措置が講じられていた。新たな油の流入および生物被害は確認されなかったため、調査を終了した。
6	3月5日	3月5日、 3月6日	その他の 河川	浦郷町5丁目			○	判明	なし	3月5日、市職員が側溝に白濁水が流れていることを確認。消防局、水道局が調査し、事業者による原因の可能性が浮上。環境保全課に通報が入り、同日中に、原因者敷地内より処理原水が溢流しているのを確認。原因者の応急措置により新たな流出が停止。周辺水域に生物被害が確認されなかったため調査を終了。 3月6日、再度現地に立入。事故現場の確認と原因等の説明を受けた。事故時等応急措置等報告書の提出及び再発防止策の実施を指導。 3月16日報告書収受。報告書内容の確実な実施を指導。